

## 令和2年度(2020年度)文化芸術振興評議会会議録

### (1)「八王子市文化芸術ビジョン」の令和元年度(2019年度)の取組状況について

#### 【意見】

- ・多くの事業で前年度もしくは目標値での参加者数を上回った点は評価できる。
- ・コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった事業についても、代替手法による開催に向けた協議を関係団体と行うなどの努力も見られる。
- ・今後、コロナウイルスの影響により、施設の利用者上限数の制限や利用者の参加控えなどが想定される。そのような中で、指標に使用されている「応募者・参加者の人数」が適切かどうか検討することが望まれる。
- ・事業によっては天候の影響を受けたものもあるように見受けられる。企画段階より悪天候の場合の対応(事業の進め方など)もしっかりと確立しておくことが望ましい。
- ・目標未達の事業に対し、原因を追求している点は評価できる。
- ・文化芸術事業は、5つの方向性に基づく取り組みは継続的に事業を行うことにより順調に進捗していると考えられる。
- ・八王子市の持つ特性を活かした、体験型・参加型で楽しめる事業の開催により事業の普及と継続による規模拡大を期待する。
- ・コロナ禍において事業実施が難しくなっている事業も多くなると考えられるがオンラインでの視聴なども検討し、様々な芸術文化に触れていただき、今後の集客にも繋げられるような事業運営も考慮いただきたい。
- ・未来に向けて育てる点で、劇団四季こころの劇場等、優れた芸術を目にすることは、長期的にみて、ささえる・つたえる等全てに通じるものがあると感じた。多様な感性をみがいてほしいと思う。学校外でも子供向けの優れた芸術にふれる場が増えるといいと思う。
- ・ささえるの点での響き渡るは、満足度98.6%ととても高い。満足のいくイベントは、今後の参加率向上につながるであろう。また次回への期待値もあがると感じる。

- ・多くのイベントで来場者が増えているのをみて、地域の方に市の事業が身近になっているのではないかと。また、複合施設などで、イベントをすると、より身近に感じ他のイベントの参加率が上がるのではないかと。
- ・コロナウイルスで多くのイベントが中止になり、今後もなにができるのか、どこで、何人までなど、うまくいかないこともあると思います。今まで以上に手間はかかるが、芸術に関わる場を作り、市民の交流の場をつくれればよいと考えます。オンライン等も活用してほしい。
- ・目標値設定について：来場者数や参加者数などの数値を設定しているものや、アンケートによる満足度や協働事業の推進・地域連携の度合いなど内容にかかわるものを設定しているものなどまちまちです。単なる数字合わせに陥らないためにも、来場者・参加者数の目標値とともに、内容や質にかかわる目標もあわせて設定するよう促していくのはいかがでしょうか。内容的向上があつてこそ、参加者・来場者の増加も期待できます。その意味で、アンケートを通して満足度や改善点などを尋ねるのはいい方法かもしれません。
- ・目標値を上回ったにもかかわらず、評価は B がある。もう少しご説明があればありがたい。
- ・「文化芸術ビジョン事業評価」一覧表について：可能でしたら、各事業がいつから実施されているか、さらに毎年・隔年・不定期などの別も加えて、示していただければと思います。前年度の所管評価も参考項目として加えていただければ幸いです。
- ・各事業をきちんと評価しながら次年度につなげることは非常に重要であり、全般的に成果を上げていると評価できる。この中で、以下 2 点コメントしたい。
  - ①「評価」と「今後の方向性」の連動である。基本、評価が高い事業であれば、広める、継続となると考えられるが、事業によっては「評価」はない、あるいは高いものの、「今後の方向性」で中止・廃止となる一方、評価は高くないが広めるといった方向性を示されている事業がある。例えば、事業評価事業 81 では、「評価なし」、理由はコロナ、今後は「広める」方向としているが、事業 85 では「評価なし」、理由はコロナということまでは事業 81 と同じだが、今後の方向性は「廃止」である。いずれも、理由の記載が必要ではないだろうか。また、コロナを理由として、中止や延期としている事業と、ほぼ同じような内容の事業であっても、（コロナはどの事業も同じように直面するものと思うが）継続する事業があるのはどういう判断であろうか。

#### 【市のコメント】

**ご質問いただいた2事業の今後の方向性については、コロナの影響ではなく、継続事業と単年事業により、異なるものです。今後、わかりやすく説明を記載していきます。**

- ②令和元年度は特に最終四半期にコロナの影響がかなり大きくあり、令和 2 年度についても実施できない事業が多いのは仕方ないとしても、今後は、オンラインなど多様な媒体を利

用することも考える必要があるのではないだろうか。収束までまだ時間がかかるという見方がある中、柔軟な対応によりできるだけ実施の方向で検討してほしい。

- ・ 毎回思うことだが、所管課事業評価の A、B、C がわかりにくい。
- ・ 番号 17「八王子城跡まつり」は想定を上回る参加者で大きな成果があったが、予算と決算の開きが大きいことや担当課の負荷などマイナス面は見なくても良いのか。

**【市のコメント】**

**予算の増や担当者の負荷などはあったが、目標値である参加者数 1000 人を大幅に上回り、来場者が歴史に興味を持つ機会となったことは、大きな成果と考えるため「A」としている。**

- ・ 番号 123～127「フラダンス教室等」は評価欄が全て同じ記述で個々の事業の評価ではなく施設利用の満足度となっている。個別の満足度調査は必要無いのか。

**【市のコメント】**

**指定管理事業の一環として実施している教室で、利用者アンケートは、事業ごとではなく、施設全体のアンケートとして実施しているため、同じ記述となっている。**

- ・ 令和元年度は、特に新型コロナウイルス感染状況下で、事業実施が困難な状況にあったが、各事業で可能な範囲で実施されたことと判断いたします。
- ・ 「八王子市民文化祭」は、開催予定 35 種目の内、13 種目のみ開催となりましたが、他市の市民文化祭が開催中止となる状況下で、新型コロナウイルス感染防止対策を万全に図る中での実施でした。前年度より来場者が少し減った結果は、B 評価となったのは止むを得ないと思いますが、A 評価に値すると思います。
- ・ 資料 1-2 を拝見し、これほど多くの事業が行われてきたことに驚きました。関係者のご尽力に敬意を表します。
- ・ 八王子地域に係る文化事業が注目されます。引き続き、推進していくことが望まれます。
- ・ 今後とも目玉となる事業に注力していき、八王子文化を広く伝えていくことが肝要かと思う。
- ・ 地域を超えた文化事業についても、国際関係の事業を始め、様々な取り組みがなされていることは素晴らしいことと思う。八王子には多くの留学生がいることから、もっとインパクトのある国際関係の事業を推進していくことが望まれる。
- ・ 子どもたちへの文化事業も行われてきましたが、更に幅広く推進していくことが望まれる。特に平和への教育をもっと進めて欲しいと思う。

- ・年度末のコロナ禍の状況が心配されたが、例年以上の事業が実施されたことは、関係者の努力が伺える。
- ・全体としては、ささえる、そだてる、つたえる、こたえる、とどけるのバランスをどう考えて、事業を企画していくのか、あるいは、多くの事業が、複合的な役割になっているように見受けられるので、どの事業も5つの役割をどのように考えているのかを検証しても良いように感じた。
- ・事業規模が著しく違うものが同等に扱われているので、予算規模、参加人数などによって、ある程度の線引きをして、評価しても良いように思う。
- ・所管の評価がおおむね好評なのは、しかたがないことだと思いますが、事業ごとに外部の声などがあると、さらに良い企画につながると考える。
- ・対象者がどなたでもという事業が半分以上なのですが、対象を明確にして、取り組むことが大事であり、どなたでもということが、誰のものでもない事業になっていないか心配である。
- ・事業の実施形態についても、事業を企画するプロセスに多くの人に関わることが良い場合と、専門家を信じて託すことが良い場合があり、その判断が所管に求められていると思う。
- ・実行委員会形式の事業が少ないのですが、市の主催や共催、あるいは指定管理ではない主体性のある実施形態を模索してみてもどうか。
- ・デザイン的な面から言及すると、事業の企画段階からデザイナーや企画の専門家の意見を聞いたり、広報的な面でも、デザインの予算と、適切なデザイナーへの発注ができるようになると、事業の内容がきちんと必要な人に届くと思う。
- ・個別の取り組みについては、継続している事業がマンネリ化しない工夫と、新規の事業への挑戦があると良いと思うが、その視点から、どの事業がどのような工夫をしているのかが、資料からでは伝わってこないのが残念です。

## 【質問】

- ・番号 70「夏休み手づくりの絵本」の目標は参加者の満足度 80%以上となっているのに目標値に対する実績値は参加者の数となっているがどういうことか。

### 【市のコメント】

目標値に対する実績値「4回99人」は誤りで、正しくは「94%」になります。

- ・番号 17「八王子城跡まつり」

予算 300 千円・決算 3,464 千円の差額分はどのように工面されたのか？

### 【市のコメント】

事業内容の変更等により、予算が増額となったため、所管課予算全体の中で調整し、本事業に充当し実施しました。

- ・番号 1「八王子ふれあいこどもまつり」

参加者が多いが、予算・決算とも 0 円になっているのはどうしてか？

### 【市のコメント】

参加料収入や参加団体負担金等で運営しているため、0 円となっています。

- ・番号 155「～響き渡る～」… 来場者は一般（学生以外）もいるのか？

### 【市のコメント】

どなたでも来場していただけます。

- ・番号 15「親子料理教室・食育教室」…予算すべて 0 で市単独ですが、どういう意味か？

### 【市のコメント】

市職員が講師となり、材料費などは参加費で賄っているので 0 円としています。

- ・実施形態の「補助」とはどのようなことか？

### 【市のコメント】

団体等に補助金を交付し、実施している事業となります。

- ・番号 34「駒木野庭園ガイド」…専門家のガイドトークがあるのに決算 0 円でできたのか？

### 【市のコメント】

指定管理事業の一環として実施しており、直営で実施しているため、0 円としています。

- ・番号 90「伝統文化ふれあい事業「説経節体験・発表講座～三味線・語り～」…伝統芸能の後継者の発掘・育成事業としてこれ位の人数でいいのか？

### 【市のコメント】

毎年度、市広報等で参加者を募集しています。

より多くの方に応募していただけるよう、募集方法等を検討していきます。

- ・番号 136・137「折り紙教室、染め紙教室」…全て参加費のみで賄えているのか？

**【市のコメント】**

指定管理事業の一環として実施し、指定管理者職員が講師をしており、参加費は取っていません。

- ・番号 165「水墨画展示会」…評価理由に「3月のコンサート」とあるが、水墨画展示会で行ったのか？

**【市のコメント】**

コンサートの表記は誤りでした。下表のとおり修正いたします。

	正	誤
目標値に対する実績値	355名	3,001名
所管課事業評価の理由	目標を大きく上回る集客で達成することができたため。 ふれあい財団の提携事業として実施したが、主催者の希望により毎年開催ではなく4年に1回の実施とする	コロナウイルス感染症の影響により、3月のコンサートは中止になったが、2月までに目標人数を大きく上回る実績をあげた。演奏者に活動の場を提供するとともに、市民が気軽に良質な音楽を楽しめる機会を提供した。

## (2) 令和元年度（2019年度）文化施設等の管理運営状況について

### 【意見】

#### 「オリンパスホール八王子」

- ・稼働率、利用者数とも高い水準で推移しており、指定管理者ならではの取組も行われている点を評価する。
- ・八王子の市民会館ということから八王子市民のための企画が重視されてきているように感じるが、もっと幅広い観点からこのホールを活用していくことも検討すべきかと思う。例えば、国際的な一流のイベントをもっと企画することなどを検討して欲しいと感じる。
- ・大型のホールであり、興行性の高い大型の事業を誘致することは仕方がないと思うが、その中でも八王子市らしい催しがどうあるべきかを、議論していく必要があると感じる。市内の学校や、伝統芸能の発表の場としても機能しているようだが、その利用とのバランスと、特定の利用者だけでなく、多くの人に親しまれるホールとなるように管理運営していくことが求められている。そのあたりをどう工夫していくのかに期待

#### 「芸術文化会館」

- ・サービス介助士や AED 資格を職員全員が取得し、利用者サービス水準の向上に繋げている点を評価する。経年により施設の不具合が出始めているようなので、点検箇所や点検回数を増やすなどの対策が望まれる。
- ・市民にとって文化・芸術に触れあう場として、市民に親しまれてきていると感じる。アクセスの面においてオリンパスホールには劣りますが、引き続き、有意義な活動の中規模施設として活用されていくことが期待される。
- ・大小の程よい規模のホールが、様々な団体に活用されている印象があり、好ましく感じている。管理者としては、様々な市民への対応が難しい側面もあり、親しまれるホールとしてフレンドリーな対応が必要だと思う。施設のメンテナンスや設備の使いやすさ、利用者、来館者へのサービスなど、きめ細かい対応が求められると感じる。

## 「南大沢文化会館」

- ・コロナウイルスの影響があった中、年間利用者数、収支差額が例年並みの水準を達成できた点を高く評価する。
- ・南大沢地域周辺の市民にとって有用な場所と思う。駅からも近く、アクセス面での利点があり、様々なイベントの会場として利用され得るところと思う。ただ、利用率が多いとはいえ、今後の企画・運営に一層の努力が必要かと思う。
- ・いちょうホール以上に、地域に密着した活用が望まれているように感じられる。指定管理者と利用者が近い距離で、館の企画・運営ができるような体制が望まれているのではないのでしょうか。資料からは、そうした方向性の工夫が読み取れないのですが、実態は、どのような感じなのか知りたいと思いました。

## 「夢美術館」

- ・臨時休館期間を除き、当初計画以上の来館者を得られたことは指定管理者の努力の成果として評価する。また、館内照明の LED 化などによる管理経費の削減にも取り組んでいる点も評価できる。
- ・展示内容の情報等の伝達がわかりづらい面もあるようなので展示内容の告知、PR 方法も検討していただきたい。
- ・入口や内覧について、改修の計画はあるか？
- ・評価が全般に少し厳しいように思えます。利用者数・利用料金収入など十分に成果をあげており、新型コロナウイルスさえなければ所期の目標を簡単にクリアしていたと考えられます。コロナ禍は不可抗力であり、夢美術館の責任とは言えません。こうした特殊な状況下での活動や実績をもう少し評価してもいいのでは。
- ・年間の入館者数が3万人程度というのは、残念なことといわなければなりません。いつ行っても閑散としています。しかも、入場券が無料で配布されているのが実情です。この仕組みがどうなっているのか知りたいところです。もっともっと真剣にこの立派な施設を有効活用すべきと思う。

### 【市のコメント】

**招待券は、特定の関係者のみに配付しており、不特定多数に配付しているものではありません。**

- ・年間で6つの展覧会を企画しており、工夫が感じられる。展覧会を10年以上企画運営していた立場からすれば、市民に興味を持てるように工夫した企画と、とても使いにくい施設を工夫して展示していて、学芸員を中心とするスタッフの努力は大きく評価できる。八王子市の規模の行政に、この程度の美術館（本来的には、美術館というよりギャラリー）しかないことがはずかしい。文化芸術振興としては、しっかりとした美術館について考え、実現する道筋を検討すべきだと思う。

## 「八王子市学園都市センター」

- ・貸館事業への依存が高い施設であるためコロナウイルスの影響を大きく受け、収支差額が大幅なマイナスになっている。with コロナ時代の利用者意識の変化を踏まえ、施設の直接利用を伴わない交流も模索することが望まれる。
- ・大学コンソーシアム八王子、八王子市学園都市推進会議等の資質も活用し、学生がもっと活用できる場の提供や学生たちが集まりやすい事業を実施することにより、学生の姿が見える場づくりも考慮していただきたい。
- ・市内の大学との連携ができていたりして良いが、もっと学校施設で発信を行うことで、利用率があがると感じる。
- ・学園都市センターの収支が400万の赤字となっているが、その理由は。また、駅前の好立地にありながら利用者減になっているのはコロナ禍だけが原因では無いのでは。その辺はどのように評価されているのか。

### 【市のコメント】

**令和元年度の学園都市センターの収支がマイナスとなった主な原因は、新型コロナウイルスの影響による施設の利用休止によるものです。平成30年度の3月の利用料金と比較すると約300万円の減収となりました。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために市が施設の利用を休止したものであり、やむを得ない結果と評価しています。**

- ・学園都市センターのホームページを見てみたが、施設の空き状況がすぐにわからず、使いにくい。
- ・JR八王子駅前の大変利便性のある施設ですが、有効に活用されているとはとても思えない。さびれた薄暗い田舎の文化施設といった感じで、魅力的な感じが漂っていない。レストランがありますが、広いスペースを有しながら、ここも活用されているとは思われない。大変もったいない使い方のため、抜本的な改革が求められていると思う。

- ・利用しやすい場所にありながら、PR が不足しており、十分な活用ができていなくてもいいと感じる。多くの大学が立地する八王子ならではの大学と連携した取り組みを進めて欲しい。学生が主体的に活用できるような枠組みなど、工夫の余地はたくさんある。指定管理の変更を含めて、検討する必要があると感じる。

## 「共通」

- ・全施設ともにコロナ禍にも関わらず、管理運営・事業内容等については概ね良好だと考える。
- ・どの施設においても利用者が減少しているが、コロナウイルスの関係で当たり前でありキャンセルにも適切に対応しており評価できる点であると感じる。
- ・感染対策や、イベントのキャンセル対応に追われる年であったと感じるが、適切に行われていてよいと思う。また今後の市民からの評価につながると感じる。
- ・新型コロナウイルスの関連で、利用者数や利用率が減少するのはやむを得ない。令和2～3年度には新型コロナウイルスの影響がさらに顕著になるので、これらの数値だけでは評価しきれないものがあるように感じる。そのため、これらの年度のみ新たな項目を設けて、どのような対策を講じたか、利用者や職員の安心安全をいかに確保したかなどについて、細かく評価してみるのはいかがでしょうか。これも災害対策・危機管理を見るうえで重要な視点だと考える。
- ・文化施設については、老朽化しつつある施設に関しても、概ね目標を達成していると評価できる。
- ・劇場やミュージアムといったライブ系の文化施設は特に令和元年度最終四半期、事業中止や延期が続いて大変な時期であった。このコロナの影響を適切に反映する必要があるのではないか。つまり、コロナがなければ十分な目標基準を達成できるような状況であったのかを見極める必要がある。でないと指定管理者の努力を適切に評価できないと思われる。
- ・各文化施設の管理運営状況は概ね適正に行われていると判断いたします。
- ・新型コロナウイルス感染問題を抱える中で、来場者減少という状況下、八王子市学園都市センターを除いて、各施設の収支差額が黒字ということは、各文化施設運営担当者の努力があったのことに推察いたします。

- ・これまでの傾向を踏まえた PDCA サイクルがきちんと回っているかを確認する必要もあるのではないか。例えば、ここ数年で、八王子市学園都市センター、南大沢文化会館の利用者数は減少傾向にあり、この理由をきちんと把握する必要があると思われる。また、八王子夢美術館は利用者数が大きく変動しているが、この理由は何か。こういったことを指定管理者がしっかりと把握し、対処したかどうかを確認することが必要なのではないだろうか。

#### 【市のコメント】

**夢美術館は、特別展の内容により利用者数の変動があります。**

**平成 30 年度は、過去最高の入場者を記録した特別展があったことなど、入場者数が増加した。**

**令和元年度は、目標どおり実施できていたが、コロナの影響により年度末が休館となり、目標を達成することができなかった。**

**このように、年度により利用者数が大きく変動する場合があります。**

- ・年度末のコロナ禍であったが、各施設すべてが概ね定量的な部分で満足できる評価になっている。すべての施設が B 評価になっていますが、資料からは、なぜ B 評価なのか、読みとることが難しい。定量が A で、定性が B になっているところが多いのが気になる。なぜ、A 評価ではなく、B 評価なのかが指定管理者に伝わると、改善ができるのではないのでしょうか。